別　紙

「東京ユビキタス計画」公募実験概要

	実験実施企業	実験概略	検証内容・効果
＜システム・サービス＞			
1	沖電気工業株式会社	音像定位技術※を用いて、まち中で音声のみによる移動案内（ナビゲーション）を行う ※音声が左右の耳に到達する時間差により、音声に方向感を与える技術	方向感のある音声を活用した移動案内（ナビゲーション）の有用性を検証する
2	株式会社ぐるなび 株式会社横須賀テレコムリサーチパーク	場所ごとに提供する店舗情報を予め設定しておき、利用者の現在位置に応じた店舗情報をユビキタスコミュニケータ（※）に提供する ※IC タグや各種マーカとの通信機能を備えた携帯情報端末	アクセス結果を解析し、提供した店舗情報がその場所の情報として有効であったかどうか検証する
3	大日本印刷株式会社	一般で使用されている携帯電話で ucodeQR やＧＰＳで現在位置を特定し、その場所で有用と思われる情報を提供する	街中において、「どこで、何をするのか」を決める上で、どのような情報が適切かを確認する
4	ティエイディ株式会社	ユビキタスコミュニケータを用いて、「東海道五十七次ユビキタス計画」（※）に係わる情報配信を実施する ※ucode を格納したタグプレートを五十七の宿場まちに設置して、500km にも及ぶ東海道全域に対して統一されたプラットフォームで情報を配信しようという計画	「東海道五十七次ユビキタス計画」の情報について、有用性を検証する
5	日本電気株式会社	利用者に性別、年代、興味などの属性を入力した ucode タグを配付し、そのタグを TwinPoP 端末（※）にかざすことで、利用者の属性に応じた情報提供を行う ※タッチパネル･無線ＬＡＮなどを搭載したマルチメディア端末	利用者の属性に応じた情報提供について、利用者の満足度を調査し、システムの有用性を検証する
6	日本ユニシス株式会社	ハンズフリー機器（ヘッドフォン、透過型メガネ等）を活用することで、街の景色を見ながら情報提供を行うことを試みる	・ スマートフォンの ucode の読み取り方法を確立する ・ スマートフォンの外部ハンズフリー機器への情報出力方法を確立する
7	パーソナルメディア株式会社	赤外線マーカを活用し、待ち合わせ場所や現在の位置を相互に確認できる待ち合わせ支援サービスを提供する	・ 混雑する繁華街において、ユビキタス技術を活用することで、容易に待ち合わせが出来るか検証する ・ また、待ち合わせ時間を活用した情報提供の有用性を検証する
＜保守・管理＞			
8	住友大阪セメント株式会社	ユビキタス技術を活用した路面冠水情報装置（※）により、無線マーカからの情報を測定する ※都市型集中豪雨による生じる路面冠水情報を瞬時に察知し、迅速に関係機関に連絡することができるシステム	路面冠水情報装置により検出される電波が、多くの車両や歩行者が存在する環境下において、遮断などの影響を受けるか確認する
9	凸版印刷株式会社 株式会社パスコ ユーシーテクノロジ株式会社	・ 屋外シールタグの劣化状況のチェック及びucode 読み取りを実施する ・ ucode タグ設置時に、タグの位置情報をその場でサーバに登録するシステムを試作し活用する ・ ucode タグを街路灯などの公物管理に利用するシステムを試作し、実験的に活用する	・ シールタグの屋外環境における耐久経年評価を行う ・ タグの位置情報をスムーズに登録できるか確認する ・ 一つのタグに、公物管理情報、店舗・観光情報など、別用途の情報を紐付けられることを確認する

※ ucode :「もの」や「場所」を識別するために、ひとつひとつに対して与えられた「世界でたった一つの番号」のこと
※ ucode タグ : ucode が格納されたタグのことで、シールタグ、無線マーカ、赤外線マーカなどがある